

2024年3月27日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

～新宿住友ビル50周年～
花びらで1つの大きな絵をつくり上げる「インフィオーラータ」
全天候型イベント空間「三角広場」をキャンバスに制作
3月23日(土)～4月2日(火)開催

住友不動産株式会社(本社:東京新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順、以下「当社」)が管理運営する新宿住友ビル「三角広場」において、花びらで1つの大きな絵をつくり上げる「インフィオーラータ」を2024年3月23日から4月2日まで開催いたします。

「インフィオーラータ」は、400年前にイタリアで発祥し、今では世界中に広がる花の路上アートです。花びらを中心に自然の素材を使い、巨大な花の路上絵をつくり上げます。開催初日の3月23日(土)は、三角広場で開催されているイベントの参加者や近隣居住者、来街者など約600名にご参加いただき、インフィオーラータの制作を行いました。

【開催概要】



完成したインフィオーラータ



インフィオーラータ作成の様子

- 会場:新宿住友ビル「三角広場」(東京都新宿区西新宿2-6-1)
- 作品展示:3月23日(土)～4月2日(火)
- テーマ:「昇り龍と桜」
- サイズ:約50㎡、直径約8m
- 観覧:無料

□ インフィオーラータとは

インフィオーラータとは、道路等の路面をキャンバスに見立て、花びらや草木、種等といった自然のものを素材に描く花絵です。イタリアで誕生し、現在まで400年続くイベントです。インフィオーラータの最大の魅力は、作品をアーティスト1人ではなく、皆でチームとなり、協力して1つの作品をつくり上げる過程にあります。多くの方が見守る中、徐々に完成していく花絵の創作シーンは一番の見どころです。

■ 一般社団法人 花絵文化協会 代表理事 / 花絵師 藤川 靖彦氏

「新宿住友ビル50周年おめでとうございます。僕の家族にとってここは思い出の宝庫なんです。我が家では家族の誕生日は、必ず高層階にあったステーキレストランでの誕生日会でした。今とは違い、ステーキは滅多に食べられる時代ではなく、年5回の誕生日会は、僕ら兄弟の一番の楽しみで、未だに忘れられない思い出です。

我が家の歴史に深く刻み込まれた新宿住友ビルよ、永遠なれ！」



■ 画家 さとうたけし氏

「新宿住友ビル50周年を記念し、2024年の干支である龍が勢いよく大空に飛躍する姿と春風に舞う桜吹雪をモチーフにデザインしました。

それぞれの願い、そして力強さと美しさが一枚の花絵で表現される作品、実際の桜の開花と重なる姿を想像しながら描きました。」



■ 住友不動産株式会社 ビル事業本部 新宿事業所 賑わい担当 鈴木 貴絵

新宿住友ビル50周年を寿ぐだけでなく、ここ西新宿に集う皆さまに幸多からんことを祈念した、インフィオーラータ。ご参加頂いた方々を始め、皆さまに愛されるビル、三角広場で在りたいと願っています。新たな門出の季節、吉兆をもたらす昇り龍との記念撮影に、是非新宿住友ビルにお立ち寄りください。

■ 新宿住友ビルについて

印象的な三角形の建物形状から『三角ビル』の愛称で親しまれてきた新宿住友ビルは、竣工当時、日本で初めて高さ200メートルを超えた日本で最も高いビルとなりました。高さ以上に画期的であったのが、設計当初からオフィス専用ではなく飲食物販、カルチャー、スポーツなどの多様な機能で構成される複合商業ビルの先駆けとして、多くの人々が訪れる『街』をつくることに挑んだことでした。



<ミニSL国際大会・1977年>



<雪まつり・1983年>

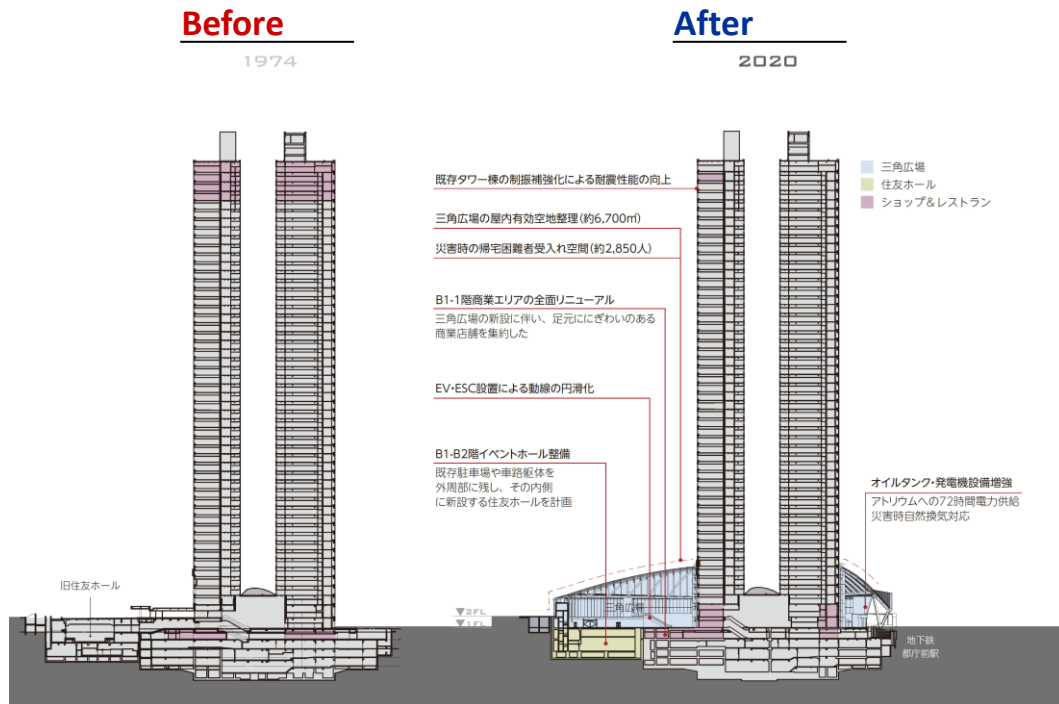


<バスケット×3大会・2015年>

長きにわたって親しまれてきた新宿住友ビルでしたが、2000年代にはいると200メートルを超えるビルに目新しさがなくなってまいりました。当社は、新たな挑戦として“賑わい、バリアフリー化、災害時の一時滞在施設の確保”など広い意味での超高層ビルにおける「公共性」を果たし、より魅力的なビジネス環境を創出するため、敷地全体にガラスの大屋根を架ける大規模リノベーションを計画しました。

天井高最大約25メートル、自然光溢れる広大な空間を創ることで、流行に左右されることなく、時代に合わせて柔軟に変化し、イベントごとに年齢、性別、国籍を問わず訪れることができる「常設型の賑わい空間」を目指したプロジェクトは、2016年に国家戦略特区認定事業となり、本格的に動き出しました。

■ リノベーション全体概要(断面図)



After

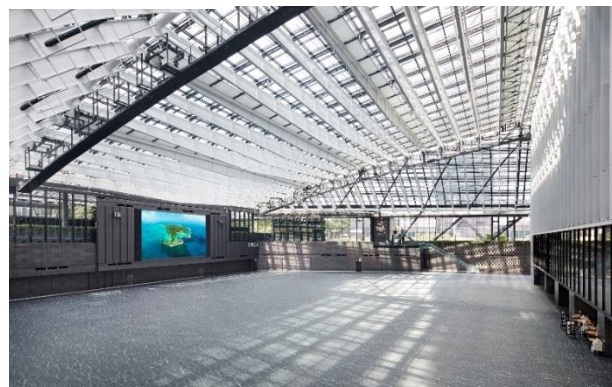
Before



<新宿副都心中央通り(4号街路側)・外観写真>

After

Before



<公開空地に新設された「三角広場」写真>

2020年6月30日、約3年のリノベーション工事期間を経て、全天候型のイベント空間「三角広場」が開業いたしました。そして現在、開業から約4年が経過しアフターコロナで様々なイベントが復活するなか、西新宿活性化の拠点として新たな人の流れと賑わいを創出しています。また、平時はイベント空間として使われる「三角広場」は、災害時には帰宅困難者の一時滞在拠点として約2,850名を受け入れ、エリアの防災対応力を高めます。

当社は、西新宿を訪れる人々にとって魅力ある都市空間の提供と、超高層ビルの持続可能性に今後とも取り組んでまいります。

【参考】

■ 新宿副都心と新宿住友ビルの歩み

1898年	M31	淀橋浄水場開設
1958年	S33	首都圏整備法により新宿が、池袋、渋谷とともに副都心に定められる
1960年	S35	新宿副都心整備方針決定、新宿副都心計画及び同事業都市計画決定
1965年	S40	淀橋浄水場閉鎖
1966年	S41	西口地下広場完成
1968年	S43	西口中央公園開設 京王プラザホテル着工
1971年	S46	京王プラザホテル完成 新宿住友ビル着工(11月)
1974年	S49	新宿住友ビル完成(3月)、KDDビル完成、新宿三井ビル完成
1982年	S57	新宿NSビル完成
1985年	S59	都庁新宿移転決定
1991年	H3	都庁舎新宿移転
2016年	H28	新宿住友ビル 国家戦略特区認定・特定街区の都市計画変更
2017年	H29	新宿住友ビル 大規模改修着工(9月30日) / 民間都市再生事業計画 認定
2020年	R2	新宿住友ビル 大規模改修竣工(6月30日) / 「三角広場」開業(7月1日)



<建設中(1972年12月14日)>



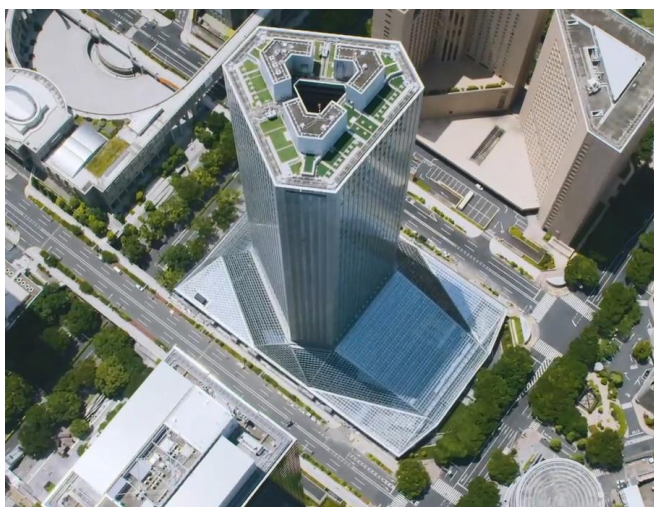
<建設中(1973年3月14日)>



<1974年 竣工時の新宿住友ビル>



<2016年7月 改修工事前>

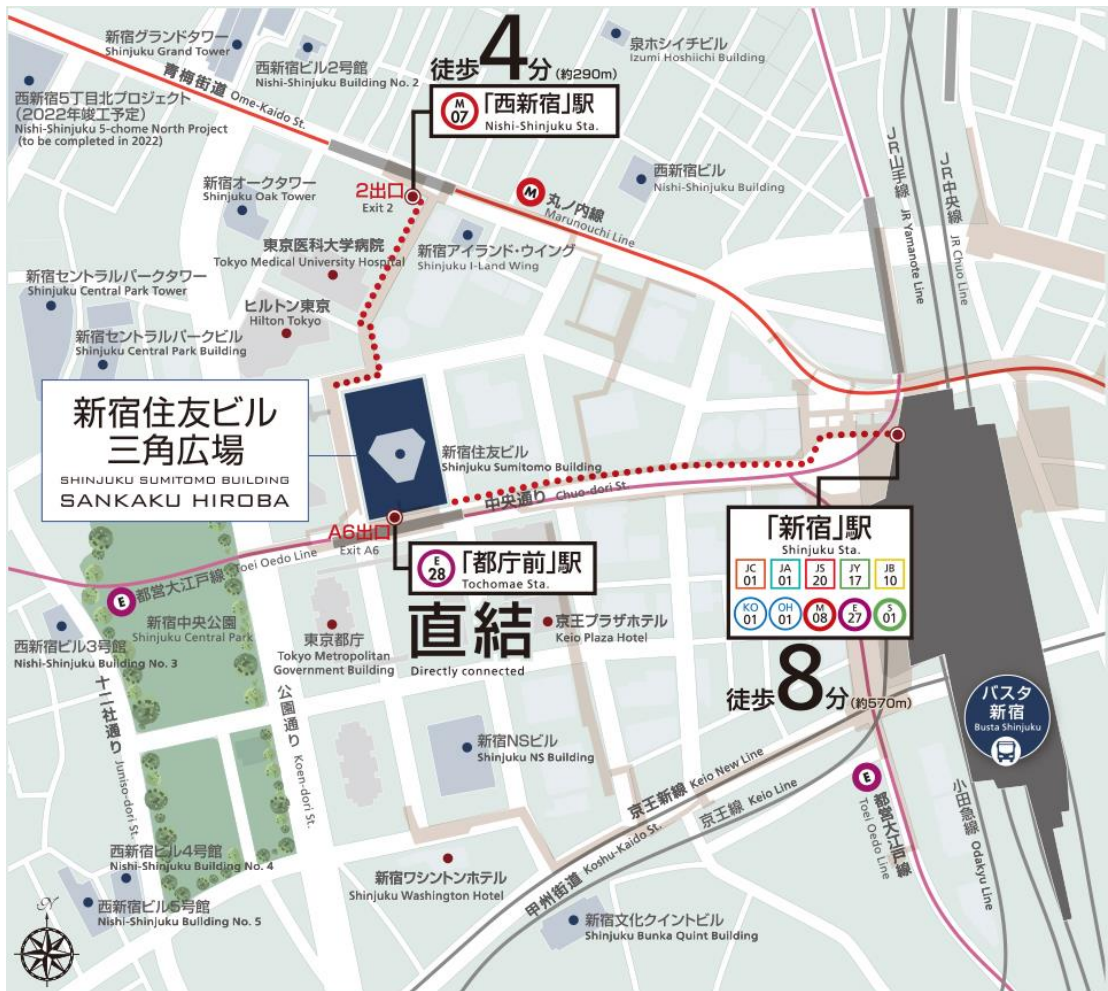


<2020年6月 新宿住友ビル(空撮)>

■ ビル概要 / 改修工事概要

【既存】		【改修後】	
所在地	東京都新宿区西新宿2丁目6番地1号	着工	2017年9月30日
敷地面積	14,446.46㎡	竣工	2020年6月30日
延床面積	165,898.91㎡	延床面積	180,195.16㎡
高さ	210メートル	アトリウム	約6,500㎡ 内イベント利用可能なスペース：約3,250㎡
階数	地上52階、地下4階	天井高	約25m（有効22m）
着工	1971年11月	最大収容	約2,000名
竣工	1974年3月	基本構想	住友不動産株式会社
設計監理	株式会社日建設計	総合監修	住友不動産株式会社
施工	鹿島建設、竹中工務店、住友建設	設計・監理	株式会社日建設計、大成建設株式会社一級建築士事務所
		施工	大成建設株式会社
		備考	国家戦略特別区域区域計画認定「西新宿二丁目(8号地)特定街区」 認定民間都市再生事業

■ 現地案内図



< 三角広場・イベント出展等に関するお問い合わせ先 >

スペース利用のご相談・お問合せ

03-3346-1671

平日：9:00-18:00 土日祝・年末年始定休